

校長通信

Morifun

<コロナに明けコロナと共に>

2020年も残すところ10日を切りました。先週からはいきなりの寒さで、まさに氷の世界に閉じ込められた感もありました。穏やかな年末年始を迎えたいものです。

さて、今年は言うまでもなく新型コロナウイルスに振り回された年でした。残念ながら収束は一向に見えず、ポストではなくウィズコロナとして年をまたぐことになりました。そして恒例の今年の漢字に選ばれたのが、「密」私の予想は「禍」でしたが、揮毫した清水寺の森清範貫主によれば、「密には、親しむという意味が含まれている。物理的には離れているが、心はしっかりとつながりを持っていきたい」とのこと。ちなみに昨年は新元号の「令」でした、覚えていますか。良い、美しい、秩序という意味を持つ言葉から急転直下なわけですが、森貫主の言葉を信じて前を向こうではありませんか。

12月24日から、入試業務との関連もあって比較的長い冬休みに入ります。普段とは違う日々を送ることになるわけですが、気を抜くことなく、まただらけた生活を送って免疫力を下げないように、有意義な期間にしてください。



<今後の行事予定等>

- 12月23日(水) クリスマス礼拝・終業式
- 12月24日(木) 特進冬季課外(～27日)
教進冬季課外(～28日)
- 12月29日(火) 年末年始休暇(～1月3日)
- 1月5日(火) 特進3年課外(～10日)
- 1月7日(木) 特進1・2年課外(～10日)
(※1月9日(土)は課外なし)
- 1月9日(土) 推薦入試
- 1月10日(日) 推薦入試合格発表
- 1月11日(月) 一般入試前期
- 1月15日(金) 始業式・礼拝 共通テスト
結団式・下見 一般入試前期合格発表
- 1月16日(土) 大学入学共通テスト
～17日(日)
- 1月18日(月) 自己採点(共通テスト)
- 1月19日(火) 防災復興講話 3年先輩・担任講話
- 1月23日(土) 英検一次 進研記述1・2年
- 1月27日(水) 3年第4期考査(～2/1)
- 1月30日(土) 一般入試後期

<全校礼拝より>

新約聖書 マタイによる福音書 第13章 37節
あなたがたに言うことは、すべての人に言うのだ。目を覚ましていなさい。

2020年も年末を迎えましたが、今年は新型コロナウイルスが国内外で感染拡大するという大変な年になりました。流行語にも「三密」が選ばれるなど、まさにコロナ一色の年です。そして今年下半期に流行したのが、皆さんもご存知の「鬼滅の刃」です。私も漫画、アニメそして劇場版を見てすっかりファンになってしまいました。劇場版では主人公の竈門炭治郎が無敵列車に乗り込んで

鬼を倒す話ですが、この鬼が人に夢を見させて、夢見ているうちに殺して食べてしまうのです。炭治郎も夢を見ますが、そこから目覚めて鬼と戦います。面白い設定ですが、この夢は本人が見たいと思っている夢で、自分でもこの夢から覚めたくないのです。炭治郎も鬼に家族を殺されるのですが、家族みんなが幸せに生きているという夢を見ます。炭治郎も夢から覚めたくないわけで、とても共感できるものでした。この状況は何か今の私たちの世界とリンクしてる感じがします。人は見たいものだけを見ようとし、見たくないものから目を遠ざけようとします。

来年の3月11日に東日本大震災・原発事故から10年になります。この原発事故というものですが、当時責任ある大人たちが原発という夢を見て、その結果事故が起こってしまったのではないかと思います。当時の70年代～80年代は科学技術がどんどん発達していて、今の科学技術をもってすれば原発事故など起こるわけがないと思ったのです。だから大地震が起こり、大津波が来た時の対策を取っていなかった、自分たちの都合のいい夢を見ていた。原発では核廃棄物も出るわけですが、その処分方法も見つかっていなかったのに、今から何十年もたてば科学が解決してくれるだろうと思い、原発を稼働させていた。でも何十年経った今も解決方法は見つかりません。原発を稼働させると色んな利益が生じるし、都合のいい利点があったのですが、長い目で見ればそれがどんな結果につながるかわかっていなかった。この原発事故を「鬼滅の刃」と比較すると、主人公が人々を守る、人々の命を守るという決意をしていることに胸を打たれるのです。それが自分たちの責務、使命だと思っている。それに対して当時原発を推進していた人たちは目の前の利益を優先して、人々の命や未来を守ることを考えていなかったのではないのでしょうか。

実は岩手にも原発の誘致に反対した人たちがいました。1981年に田野畑村に誘致の話がありましたが、元保健師の岩見ヒサさんという方が町の人たちと勉強会を開いて、

万が一事故が起こった場合どれほど大変なことになるかを知り、反対運動を起こしました。もしも東日本大震災が起きたときに、岩手にも原発があったなら、福島と並んで本当に大変なことになっていたはずですが、それが岩見さんたちのお陰で防ぐことができましたのです。当時も多くの人が原発という夢を見てしまったわけですが、覚醒してそれに反対した人たちもいたのです。

鬼に眠らされた炭治郎も覚醒し、心地良い夢から目覚めて今に向かい合い、乗客の命と未来を守るのです。その姿にアニメを超えて僕自身心を打たれました。「目を覚ましていなさい」というイエス・キリストの言葉ですが、これはクリスマス前のアドベントに読まれることが多いのですが、寝ちゃ駄目というのではなく、心の目を覚ましておきなさいということです。私たちは自分にとって都合のいいことばかりを見て、心地良い夢をずっと見ていたいわけですが、そんなとき私たちをハッと目覚めさせるのは大切な人の存在、大切な人を守らなければという気持ちなのです。大切な人たちが何か傷つけられたり、困っている状況にあれば、そこに向かい合うこと、自分のできることをしていこうという言葉なのです。

(12月8日 全校礼拝 花巻教会牧師・鈴木道也先生)



<徒然なるままに>

コロナによる怒涛の一年というのがありますが、最近、いやかなり前から月日が経つのがとても早く感じられて仕方ありません。年のせいなのでしょう。同じことを4、5年前にも感じて、原因を調べてみると「ジャーネーの法則」というものに辿り着きました。以下がその法則。

その答えは、記憶することが少なくなるからです。時間を感じるのは海馬への記憶の固定にかかるプロセスです。人間は、幼少の頃から様々な事柄を記憶します。脳の海馬で記憶をつかさどりますが、長期記憶の固定には約20分の時間が必要です。子供の頃は「視覚、嗅覚、味覚、触覚、聴覚」のありとあらゆる情報を記憶します。この情報を海馬へ記憶に固定させるのに多くの時間が必要になります。過去に経験の無い、新しい事柄を覚えると、人間は時間のたつのが遅く感じます。大人になると、過去に記憶した経験則ばかりになります。仕事でも、今までの繰り返しが多くなります。子供と比べて、新規に記憶する事柄が激減します。このため、時間の経過が早く感じるようになります。

なるほど・・・なんか「チコちゃんに叱られる」でも同じようなことをやっていました。要するに年を取ると感動体験が少なくなるのだということ。こうなると生徒の皆さんが羨ましい限りです。でも最近、ある記事を読んで「これだ!」と思ったことがありました。それはある人が「創年」という造語を作り、実年齢を3割若返らせて、若返った気持ちで自分を地域に生かす楽しみ方を創り出そうと提案しているのです。そうなると私は大体45歳になります。その若さで地域にというよりも附属高校そして大学に貢献できれば、と考えることにします。大事なのは気の持ちようなわけで、皆さんの活躍や感動の場面に立ち会うことで、日々をじっくりと味わっていく、そんな年に来年はなりますように。個人的には東京オリンピック・パラリンピックが無事開催されることを切に祈るばかりです。

<今年の一冊・今年的一本>

今年度から朝読書を始めたわけですが、皆さんはどんな本を読んだでしょうか。10月に高総文祭の総合開会式がありましたが、係で来ていた生徒が空き時間にベンチに座って文庫本を読んでいる姿があり、何となく嬉しく思いました。私は県バレーボール協会の会長を仰せつかっており、本来であれば土日には様々な大会があり、顔を出すこととなりますが、コロナの関係でほとんどの大会が中止となり、その時間が読書に費やされることになりました。というわけで今現在106冊目の本を読んでいます。ちなみに映画館も1か月強クローズしたことも手伝い、映画の本数と逆転現象が起きました。それでも映画館には66回足を運んでいます。そうです、他にあまり趣味がないのです。前置きが長くなりましたが、つい最近読んだ本と映画が実は韓国作品でした。まずは本から、「わたしに無害なひと」(チェ・ウニョン 2020年)

序文となる作者の言葉にこの本の魅力が凝縮されています。「みなさんがこの本を読むことで、私たちのあいだに存在する普遍的な何かに触れると同時に、私たちの違いについても具体的に経験してくれればと思っている。書くことと読むことを介して互いに出会い、この世の誰も韓国人だの日本人だのという薄っぺらい基準でむやみに定義されたり、偏見の対象にされることはないのだと、お互い感じられたらいいと思う。(改行)この短編集に寄せた作品のほとんどが過去の記憶の物語だ。過ぎた日々を記憶することの大切さが、人間を人間たらしめると私は考えている。ただの過去はひとつもない私はそう信じている。」これからのグローバル社会を生きる若い皆さんにこそ読んでほしい一冊です。映画については来月号で紹介します。

